

重点的に取り組んだ活動・内容

項 目	実 践 状 況
1 実践 1 【実践活動名】 性的マイノリティ研修	職員研修として、動画「あなたがあなたらしく生きるために 性的マイノリティと人権」と「あなたがあなたらしく生きるために(概要版)」を視聴し、性的マイノリティについて話し合いを行った。 また、子どもたちにとって、性的マイノリティの問題が表面化するのは、服装などで男女が明確にされる中学校の制服と考えられるが、この問題について、最近、話し合われるようになってきていることなど社会的現状が紹介された。 成果 まだまだ性的マイノリティが理解されていないのが実情で、その分本人たちが苦しんでいることを改めて考える機会となった。 性的マイノリティが理解される社会を作っていくには、教員はもちろん目の前の子どもたちが世の中には様々な人がいて、みんな人として同じであるという意識をもつことが大事だと改めて考えることができた。 課題 性的マイノリティに限らず、児童に人は一人一人みんな違うことを発達段階に応じてどのように理解させ、個性を認め合うことが自他の幸せにつながるということを伝えていくか。
2 実践 2 【実践活動名】 人権集会	人権月間にちなみ、人権集会を行った。集会の中では、児童一人一人が自分が言われてうれしかった「あったか言葉」をエピソードを添えて紹介し合った。日常の学校生活の中で、何気なく言った言葉が相手にとってはうれしかったり、励みになったりすることに気づき、日頃から学校生活の中でどのように友達に接していくとよいのかを考える機会をもった。 また、集会の中で発表した「あったかことば」は、「いつ」「誰に」言われた言葉なのかわかるように工夫して掲示し、折に触れて目にすることで、意識の継続を図った。 成果 「あったか言葉」の紹介の中で、名前が出てきた児童の顔には、自分の言葉が受け止めてもらえた喜びがうかがえた。 また、自分が言われてうれしかった「あったか言葉」の発表を機会に、自分と友達との関わりを見直し、友達の優しさを改めて感じている姿が見られた。 さらに、友達に言われてうれしかった「あったか言葉」の紹介を通して、機会があったら「自分も…」と考えている児童も見られた。 課題 人権集会を通して知った「あったか言葉」の実際を児童に意識させ、これからの学校生活の中で生かしていこうという意欲の継続をいかに図るか。